



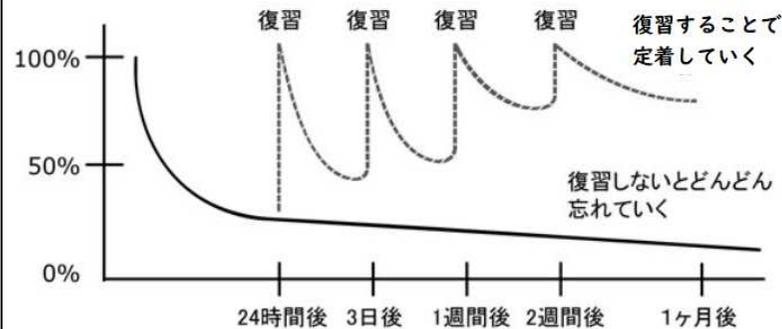
決めた時刻に家庭学習を始める習慣を

校長 作田 潤一

学力は、子どもたちが進路を切り拓くうえで、変化の激しいこれからの社会を生き抜くために、そして人生を通して学び続けるために必要なものです。

私が県庁に勤務しているときに、全国学力・学習状況調査が始まり、成果をあげている秋田県の教育委員会や小・中学校を視察する機会がありました。

秋田県の取組で特に印象的だったのは、児童生徒がグループやペアで話し合う活動が多い授業と、「家庭学習の習慣化」でした。家庭学習の徹底が大きな効果を生んでいるとのことでした。



上のグラフは、「エビングハウスの忘却曲線」と呼ばれるものです。

黒い線は記憶です。まず最初、授業に真剣に取り組み知識を得ました。この時点では記憶は100%です。しかし、そのまま復習せずにいると、黒い線のようにどんどん忘れてしまいます。しかし、学習した後24時間以内に復習をして、3日後に前回の半分の時間で復習をして、さらに・・・と復習すれば、徐々に短い時間の学習で記憶は定着するというものです。

本校生徒の家庭学習の現状は、決めた時刻に学習を始めている生徒が約2割。学習を始める時刻を決めていない生徒が約5割です。子どもたちの可能性を拡げるためにも、学習を始める時刻を是非家庭で話し合っ決めていただきたいと思います。

裏面に関連する記事を掲載します。

<今こそ学習に力を！>

御船中学校では、朝と放課後の短い時間を活用して、生徒たちが学び合う活動を行っています。その名も「モーニングタイム」と「シェアタイム」です。モーニングタイムでは、朝から全校一斉に読書をしたり、前日の家庭学習の課題を生徒同士で教え合ったりしています。また、放課後のシェアタイムでは、自主学習ノートを見せ合い、お互いの学習の仕方の良いところやまめ方を学び、自分の学習に取り入れています。



朝から一斉に教え合い！
モーニングタイム：1年生



良い学習方法を共有しています。
シェアタイム：2年生

私たち教師も授業の在り方について研究をしています。目指すは、生徒たちが学習意欲を高める「スマート(SMART)な授業」です。

先日は、岩野靖先生が2年1組で数学の研究授業を行いました。生徒が主役の素晴らしい授業でした。生徒たちは教師の研究会にも参加し、「数学は先生だけで進めるのではなく、個人や班で考えを伝え合う時間があるので楽しいです」などの意見を発表してくれました。教師も生徒が主役の授業作りに励まなければと気持ちを新たにしました。



自主的に話し合う2年1組



生徒たちが、授業づくりにアドバイスをくれました。

<ありがとう、部活動！>

7月後半から、中止になった中体連の代替大会が行われました。

天候不順もあり十分な練習もできない中での大会でしたが、各部健闘しました。その中でも、男子ソフトテニス部は団体優勝、個人でも1位から3位までを独占しました。



おめでとう！男子ソフトテニス部

ほとんどの部活動はこれで3年生は終わりになりますが、部活動から学んだことがたくさんあったと思います。これからも応援しています。

3年間の部活動では、仲間や先生方から努力の大切さを学びました。部活動ありがとう！と言いたいです。(3年生男子)

<8月、9月の主な行事予定>

- 8月20日(木)：2学期始業式
- 29日(土)：PTA美化作業
- 9月8日(火)：体育大会予行練習
- 9日(水)：振替休業日(9/12分)
- 12日(土)：体育大会

詳しくは、別紙プリントをご覧ください。

昼食無しの午前中開催の予定です。別紙案内プリントをご覧ください。

9月30日(水)、10月1日(木)：中間テスト

※熊本県教育委員会から発行されております、「教育広報誌『ばとん・ばす』」が今年度から電子版での発行となりました。携帯・スマホから右のQRコードを読み取っていただくか、パソコンにて下のURLを検索していただくとご覧いただけます。

QRコード



http://kyouiku.higo.ed.jp/pub_info/pub/default.phtml?id=169